

## 2024年度ふり返り COVID-19ワクチン・治療薬一覧

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2024年4月に公費負担終了など、広く社会に浸透した一方で、報道で取り扱われる機会が減りました。しかし、2024年7～8月には第11波がみられ、日本感染症学会等や厚生労働省は、65歳以上の高齢者などを対象に定期接種を呼び掛けています。2024年のふり返りとして、2025年2月末時点で承認されているおもなワクチンや治療薬を一覧にまとめました。

### COVID-19 ワクチン一覧

販売名 [製造販売元]	用法・用量	副反応	備考	承認
<b>コミナティ筋注6ヵ月～4歳用3人用/RTU筋注5～11歳用1人用/筋注シリンジ12歳以上用</b> [種類] mRNA (JN. 1 SP) [製造販売元] ファイザー株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●筋注6ヵ月～4歳用3人用：日局生理食塩液1.1mLにて希釈。[初回免疫]0.3mL/回を計3回接種。2回目は通常、3週間の間隔で、3回目は2回目の接種から少なくとも8週間経過後に接種。[追加免疫]0.3mL/回(前回接種から少なくとも3ヵ月経過後)</li> <li>●RTU筋注5～11歳用1人用/筋注シリンジ12歳以上用：0.3mL/回(通常、前回のSARS-CoV-2ワクチンの接種から少なくとも3ヵ月経過後に接種可。過去にSARS-CoV-2ワクチンの接種歴のない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目接種可)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●50%以上の頻度：痛み、疲労、頭痛</li> <li>●重大な副反応：ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャップラベルおよびシリンジラベルを色分け(6ヵ月～4歳用3人用：イエロー/RTU筋注5～11歳用1人用：ライトブルー/筋注シリンジ12歳以上用：グレー)</li> <li>●筋注6ヵ月～4歳用3人用：[初回免疫]原則として、同一の効能・効果をもつ他のワクチンと混同することなく3回接種</li> </ul>	[初回承認日] 2021年2月14日 [販売開始] ●筋注6ヵ月～4歳用3人用/RTU筋注5～11歳用1人用：2024年11月 ●筋注シリンジ12歳以上用：2024年9月
<b>スパイクボックス筋注</b> [種類] mRNA (JN. 1 SP) [製造販売元] モデルナ・ジャパン株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生後6ヵ月以上5歳未満：[初回免疫]0.25mL/回を2回接種。通常、4週間の間隔をおいて接種(3回目以降の接種はできないので要注意)</li> <li>●5歳以上12歳未満：0.25mL/回接種</li> <li>●12歳以上：0.5mL/回接種(5歳以上は、通常、前回のSARS-CoV-2ワクチンの接種から少なくとも3ヵ月経過後に接種可。過去にSARS-CoV-2ワクチンの接種歴のない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目接種可)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●50%以上の頻度：痛み、疲労、頭痛</li> <li>●重大な副反応：ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生後6ヵ月以上5歳未満：本剤は2回接種により効果が確認されていることから、原則として、他のSARS-CoV-2に対するワクチンと混同することなく2回接種</li> </ul>	[初回承認日] 2021年5月21日 [販売開始] 2021年5月
<b>ヌバキソビッド筋注1mL</b> [種類] 組換えタンパク質 (JN. 1 SP) [製造販売元] 武田薬品工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●6歳以上12歳未満：[初回免疫]0.5mL/回を2回接種。通常、3週間の間隔をおいて接種</li> <li>●12歳以上：0.5mL/回接種(通常、前回のSARS-CoV-2ワクチンの接種から少なくとも6ヵ月経過後に接種可。過去にSARS-CoV-2ワクチンの接種歴のない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目接種可)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●50%以上の頻度：痛み、疲労、筋肉痛、頭痛</li> <li>●重大な副反応：ショック、アナフィラキシー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●6歳以上12歳未満：本剤は2回接種により効果が確認されていることから、原則として、他のSARS-CoV-2に対するワクチンと混同することなく2回接種</li> </ul>	[初回承認日] 2022年4月19日 [販売開始] 2024年9月
<b>ダイチロナ筋注</b> [種類] mRNA (JN. 1 SP RBD) [製造販売元] 第一三共株式会社	12歳以上：0.6mL/回接種(通常、前回のSARS-CoV-2ワクチンの接種から少なくとも3ヵ月経過した後に接種可。過去にSARS-CoV-2ワクチンの接種歴のない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目接種可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●50%以上の頻度：痛み、倦怠感</li> <li>●重大な副反応：ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎</li> </ul>	—	[初回承認日] 2023年8月2日 [販売開始] 2023年12月
<b>コスタイベ筋注用</b> [種類] mRNAレプリコンタイプ (JN. 1 SP) [製造販売元] Meiji Seikaファルマ株式会社	18歳以上：日局生理食塩液10mLにて溶解し、0.5mL/回接種(通常、前回のSARS-CoV-2ワクチンの接種から少なくとも3ヵ月経過した後に接種可。過去にSARS-CoV-2ワクチンの接種歴のない者には、およそ4週間の間隔をおいて2回目接種可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●50%以上の頻度：痛み</li> <li>●重大な副反応：ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎</li> </ul>	—	[初回承認日] 2023年11月28日 [販売開始] 2024年9月

参考資料：「2024年度の新型コロナワクチン定期接種に関する見解」[2024年10月17日(一社)日本感染症学会他]、  
 「新型コロナワクチン定期接種リーフレット(令和6年10月版)」(厚生労働省)、各社添付文書

## COVID-19 おもな治療薬関連 一覧

★ SARS-CoV-2 による感染症の予防の基本はワクチンによる予防であり、「発症抑制」の効能・効果については、ワクチンに置き換わるものではない。

- 中等症Ⅰ：肺炎あり、酸素吸入なし、中等症Ⅱ：酸素吸入あり
- 以下の中和抗体薬は、オミクロンに対して有効性が減弱していると考えられるため、抗ウイルス薬の投与を優先して検討

● 発症抑制 ▶ 効能・効果：SARS-CoV-2による感染症の発症抑制

分類	一般名／販売名 [製造販売元]	用法・用量	重大な副作用	妊婦・授乳婦	承認
長期間作用型 モノクローナル抗体	シバビバルト (遺伝子組換え) <b>カビゲイム注射液 300mg</b> [製造販売元] アストラゼネカ株式会社	成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児： 300mgを大腿前外側部に筋肉内注射。 筋肉内注射が困難または適切ではない場合、静脈内注射	重篤な過敏症	● 妊婦・妊娠の可能性のある女性：治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与 ● 授乳婦：治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討	[製造販売承認] 2024年12月27日

● 治療および発症抑制 ▶ 効能・効果：SARS-CoV-2による感染症及びその発症抑制

分類	一般名／販売名 [製造販売元]	用法・用量	治療対象者	重大な副作用	妊婦・授乳婦	承認
中和抗体薬	カシリピマブ/イムデピマブ <b>ロナプリーブ注射液セット 300/1332</b> [製造販売元] 中外製薬株式会社	成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児：カシリピマブ及びイムデピマブとしてそれぞれ600mgを併用により単回点滴静注または単回皮下注射	重症化因子を有する軽症～中等症Ⅰ (発症から7日以内)	重篤な過敏症、infusion reaction	● 妊婦・妊娠の可能性のある女性：治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与 ● 授乳婦：治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討	[特例承認] 2021年7月19日

● 治療薬 ▶ 効能・効果：SARS-CoV-2による感染症／(バリシチニブ・トシリズマブ)SARS-CoV-2による肺炎 (ただし、酸素吸入を要する患者に限る)

分類	一般名／販売名 [製造販売元]	用法・用量	治療対象者	重大な副作用	妊婦・授乳婦	備考	承認
中和抗体薬	ソトロピマブ <b>ゼビュディ点滴静注液 500mg</b> [製造販売元] グラクソ・スミスクライン株式会社	成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児：500mgを単回点滴静注	重症化因子を有する軽症～中等症Ⅰ (発症から5～7日以内)	重篤な過敏症、infusion reaction	● 妊婦・妊娠の可能性のある女性：治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与 ● 授乳婦：治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討	—	[特例承認] 2021年9月27日
抗ウイルス薬	[RNA合成酵素阻害薬] レムデシビル <b>ベクルリー点滴静注用 100mg</b> [製造販売元] キリアド・サイエンシズ株式会社	● 成人及び体重40kg以上の小児：投与初日に200mg、投与2日目以降は100mgを1日1回点滴静注 ● 体重3.5kg以上40kg未満の小児：投与初日に5mg/kg、投与2日目以降は2.5mg/kgを1日1回点滴静注 ● 総投与期間は10日までとする	重症化因子を有する軽症～	肝機能障害、過敏症 (infusion reaction、アナフィラキシーを含む)	● 妊婦・妊娠の可能性のある女性：治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与 ● 授乳婦：治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討	—	[特例承認] 2020年5月7日 [一般流通開始] 2021年10月18日
	[RNA合成酵素阻害薬] モルヌピラビル <b>ラゲプリオカプセル 200mg</b> [製造販売元] MSD株式会社	18歳以上の患者：800mg/回を1日2回、5日間経口投与	重症化因子を有する軽症～中等症Ⅰ (発症から5日以内)	アナフィラキシー	● 妊婦・妊娠している可能性のある女性： <b>禁忌</b> ● 授乳婦：治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討	—	[特例承認] 2021年12月24日 [一般流通開始] 2022年9月16日
	[プロテアーゼ阻害薬] ニルマトレルビル/リトナビル <b>バキロビッドバック 600/300</b> [製造販売元] ファイザー株式会社	成人及び12歳以上かつ体重40kg以上の小児：ニルマトレルビル 300mg/回及びリトナビル 100mg/回を同時に1日2回、5日間経口投与	重症化因子を有する軽症～中等症Ⅰ (発症から5日以内)	肝機能障害、中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群、アナフィラキシー	● 妊婦・妊娠の可能性のある女性：治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与 ● 授乳婦：治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討	[禁忌] ① エレトリプタン臭化水素酸塩、アゼルニジピンなど特定の薬剤を投与中の患者 (添付文書参照) ② 腎機能または肝機能障害のある患者でコルヒチンを投与中の患者	[特例承認] 2022年2月10日 [一般流通開始] 2023年3月22日
	[プロテアーゼ阻害薬] エンシトレルビル <b>ゾコーバ錠 125mg</b> [製造販売元] 塩野義製薬株式会社	12歳以上の小児及び成人：1日目は375mg、2～5日目は125mgを1日1回経口投与	高熱または咳嗽・咽頭痛の症状が強いもの (発症から72時間以内)	ショック、アナフィラキシー	● 妊婦・妊娠の可能性のある女性： <b>禁忌</b> ● 授乳婦：授乳しないことが望ましい	[禁忌] ① ビモジド、キニジン硫酸塩水和物など特定の薬剤を投与中の患者 (添付文書参照) ② 腎機能または肝機能障害のある患者でコルヒチンを投与中の患者	[緊急承認] 2022年11月22日 [一般流通開始] 2023年3月31日
免疫抑制・調節薬	[副腎皮質ステロイド薬] デキサメタゾン <b>デカドロン錠、デキサート注射液など</b>	● 6mgを1日1回10日間まで (経口・経管・静注) ● 40kg未満の小児等では、0.15mg/kg/日への減量を考慮	中等症Ⅱ～重症 (発症から7日以内)	誘発感染症、感染症の増悪、続発性副腎皮質機能不全、糖尿病など	妊婦・授乳婦にはプレドニゾン40mg/日を考慮する	[禁忌] デスマプレシン酢酸塩水和物、リルピピリンなど特定の薬剤を投与中の患者 (各添付文書参照)	—
	[JAK (ヤヌスキナーゼ) 阻害剤] バリシチニブ <b>オルミント錠 4mg/2mg/1mg</b> [製造販売元] 日本イーライリリー株式会社	成人：レムデシビルとの併用において、4mgを1日1回経口投与 (総投与期間は14日間まで)	中等症Ⅱ～重症 (入院後3日以内)	感染症、消化管穿孔、好中球減少、リンパ球減少など	● 妊婦・妊娠の可能性のある女性： <b>禁忌</b> ● 授乳婦：授乳しないことが望ましい	[禁忌] ① 活動性結核の患者② 好中球数が500/mm <sup>3</sup> 未満の患者③ 透析患者または末期腎不全の患者 (eGFR < 15mL/min/1.73m <sup>2</sup> ) ③ リンパ球数が200/mm <sup>3</sup> 未満の患者	[追加承認] 2021年4月23日
	[ヒト化抗ヒト IL-6 受容体モノクローナル抗体] トシリズマブ <b>アクテムラ点滴静注用 80mg/200mg/400mg</b> [製造販売元] 中外製薬株式会社	成人：副腎皮質ステロイド薬との併用において、1回8mg/kgを点滴静注。症状が改善しない場合には、初回投与終了から8時間以上の間隔をあけて、8mg/kgを1回追加投与可。	中等症Ⅱ～重症 (発症から7日以内)	アナフィラキシーショック、アナフィラキシー、感染症、間質性肺炎など	● 妊婦・妊娠の可能性のある女性：治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与 ● 授乳婦：治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討	[禁忌] 活動性結核の患者	[追加承認] 2022年1月21日

参考資料：「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き (第10.1版)」/「COVID-19に対する薬物治療の考え方 第15.1版」[(一社)日本感染症学会] / 各社添付文書

※本記事は、2025年2月26日時点の情報で作成しています。

### ★2024年度のCOVID-19関連のおもな行政関連ニュース

2024年 4月 通常の医療体制に移行、治療薬等の公費負担終了  
2024年10月 65歳以上の高齢者などを対象に定期接種開始

### ★2024年のCOVID-19流行状況と変異株

2024年1～2月頃 「第10波」(オミクロン株の変異株「JN-1」系統)  
2024年7～8月頃 「第11波」(オミクロン株の変異株「KP-3」)  
2024年12月以降 「XEC 系統」とその亜系統が増加傾向\*

\*「新型コロナウイルスサーベイランス月報:2025年1月」(国立感染症研究所) 参照